



2025年 棚田学会 現地見学会

「愛媛県 南予地域の棚田と段畑」



棚田学会では、以下の要領で2025年現地見学会を計画しています。
今回の見学会では愛媛県南予地方の棚田(奥内の棚田)と段畑(遊子の段畑)の2ヶ所を見学します。南予地方の急傾斜地農業の歴史を学び現地を見学することにより、棚田保全の未来について議論を深めたいと思います。
希望者は裏面の申し込み要領によりお申し込み下さい。

集合 6月14日(土) 13:00 JR宇和島駅

解散 6月15日(日) 13:00 JR宇和島駅

見学先：奥内の棚田(北宇和郡松野町)：重要文化的景観(文化庁)、つなぐ棚田遺産(農水省)

遊子の段畑(宇和島市)：重要文化的景観(文化庁)、海沿いの急傾斜段々畑

見学後、宇和島市内にて交流会。

ミニ・シンポジウム6月15日、午前中：宇和島市歴史資料館

(オプション6月15日午後 榎谷棚田(大洲市)：つなぐ棚田遺産(農水省))

宿泊：ホテル・イシバシ(愛媛県宇和島市栄町港2-4-14)

募集人員：40名(先着順で定員になりしだい締め切り)

ツアー参加費：20,000円程度、学生割引あり(参加費は参加者数により増減します)

後援：農水省中国四国農政局(予定)、宇和島市、松野町

現地ミニ・シンポジウム（オンライン配信は行いません）

日時：6月15日（日）9：00～12：00（8：40受付開始）

会場：宇和島市歴史資料館（宇和島市住吉町2-4-36）

「南予地域の棚田・段畑から学ぶ、これからの棚田地域のありかた」

○基調講演（45分）

・大本敬久先生：愛媛大学地域協働推進機構 特定准教授

「愛媛県南予地域の急傾斜地農業の成立と展開—宇和海沿岸部の段々畑と山間部の棚田—」

○報告（各15分）

・井上 一弥 氏（奥内の里保存会）：「棚田を生かした地域づくり」

・松田 鎮昭 氏（NPO法人 段畑を守ろう会）：「段畑を生かした地域づくり」

・河野 豊 氏（椋谷棚田保存会）：「椋谷棚田保存会の活動について」

○ディスカッション（60分）

なお、オプションの6月15日（日）午後、椋谷棚田（大洲市）見学については別途個人負担での参加となります。交通手段、費用については参加人数が確定した後に、事務局より参加者へご案内いたします。

椋谷棚田見学後、松山空港または松山駅に18:00ころ到着の予定です。

<参加申し込み要領>

参加受付：2025年4月7日～4月30日（ツアーは定員になり次第締切ります・会員優先）

お問い合わせ：tanada.ac@gmail.com FAX：042-385-1180

Google form、メール、FAX、郵便のいずれかにて必要事項を記入の上お申し込み下さい。

Google form：<https://forms.gle/fdBrhScLUrkmvw8v9>

メール：tanada.ac@gmail.com

FAX：042-385-1180

郵送：〒184-0015 東京都小金井市貫井北町1-14-5-101

ふるきやら内 棚田学会事務局 宛



2025年 棚田学会 現地見学会 参加申し込み

お申し込みの内容に をご記入ください。

ツアー参加（¥20,000程度） 懇親会のみ（¥8,000） シンポジウムのみ（無料）

オプション（椋谷棚田）参加（個人参加、費用は別途個人負担）

氏名 _____（男・女） 区分： 会員・学生会員・非会員

住所 〒 _____

当日連絡できる電話番号 _____ E-Mail _____

現地までの交通手段 航空機+JR・JR・自家用車・レンタカー・その他（_____）

*参加申し込みの個人情報は棚田学会の連絡以外には使用いたしません。